



R5年度 学校経営運営ビジョン

福島県立いわき支援学校



学校教育目標：児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力をはぐくみ、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる。

自ら考え学ぶ人

一人一人の学びの充実を図ります。

○学びの連続性を意識した授業

個別の指導計画や学びの履歴の活用し、学習到達度や進度の把握により、学部間の学びをつなぎます。

○「個別最適化された学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を実現した授業作り

一人一人の興味関心、目指す姿に応じて、学習内容・学習課題を提供し「学習の個性化」を図るとともに、教師や友達と共に問題の発見や解決に挑む授業を展開し、「協働的な学び」を目指します。

○自立活動の視点を確認した授業

自立と社会参加に向けて必要な力を身に付けるため個別の指導計画の活用と適切な評価を実施します。

○授業作りを通した、教員同士の学び合い

・単元配列一覧表・年間計画を、各教科や幅広い場面で活用した授業作りを行います。

・各教科等で育成を目指す資質・能力を明確にした授業作りと学習評価を行います。

・経験年数を問わず、意見を交わし、学び合うことができる授業検討会を行います。いわき支援カリキュラム、単元計画シートや教材の共有・情報交換を活発にします。

○ICT 機器の活用推進

授業での活用事例や教材を共有・蓄積し、児童生徒の学習活動の充実や情報活用能力の向上を図ります。

○教職員による職務の効率化の推進により働き方改革につなげます。(情報教育部)

○職員間の交流を増やし、風通しの良い職場作りにも努めます。(服務倫理・衛生委員会)

心ゆたかな人

豊かな人間性・社会性を育成します。

○「キャリア教育全体計画」を基に、進路指導の充実

基本的な生活習慣の確立、自分の役割と課題の理解など、児童生徒の将来を見据えた小学部から高等部までつながりのある進路指導を行います。(進路指導部)

○自分の良さを大事に、豊かな心をもつ人の育成

学校生活や学習活動を通して自己を理解する力をつけるとともに、かかわりの幅を広げながら他者を理解し認められるような生徒指導を行います。(生徒指導部)

○体験的な活動を取り入れた道徳の指導の充実

「心ゆたかな人」の実現に向けて、発達段階を踏まえた指導を行います。

○交流及び共同学習の充実

校内での学級・学部を超えた交流、学校間交流、居住地校流や、地域住民との交流を大切にし、生活経験を拡大し、多様な考え方や見方に触れ、社会性や豊かな人間性を育てます。

地域や保護者と共に よりよい学校を作ります。

地域貢献・地域資源の活用

・地域の方々や保護者等を講師として招聘するとともに、地域で行っている様々な活動への参加や校外学習を適宜取り入れます。
・地域への貢献活動を発達段階等に応じて行います。

広報活動の充実

・広報誌やホームページを活用し、各種団体の活動を積極的に発信します。
・地域における特別支援学校の理解啓発を図ります。(渉外部・情報教育部)

教職員が一人一人持ち味を発揮し、チーム力を高めます。

じょうぶな人

健康で安全な生活を推進します。

○「性に関する指導」の充実

令和5年度版「性に関する指導」全体計画や指導内容表を活用し、児童生徒の発達の段階や実態に応じた保健指導の充実に努めます。(保健部)

○安全教育・防災教育の充実を図ります。

安心・安全な環境を整え、自然災害等への備えを意識した防災教育を行います。

○関係機関の連携の拡大と深化、地域支援・校内支援の充実（地域支援センター）

【地域支援】

- ◆中・高連携の情報交換の場の設定とコーディネートをします。
- ◆学校・家庭・福祉・医療等との情報共有、連携を深化させます。
- ◆就学前の幼児や保護者への支援を充実させます。
- ◆出かける支援、研修支援の充実を図り、特別支援教育の理解を広げます。

【校内支援】

- ◆入学支援会議、サービス担当者会議等を生かした指導の充実と、地域支援を行います。
- ◆学部ごとの支援状況を共有し、校内の連携を図ります。

つながり・つながる・ひろげる！！

